

船舶事故等調査報告書

平成21年10月1日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009門第103号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年5月11日 15時00分ごろ	
発生場所	鹿児島県鹿児島市喜入町新日本石油基地喜入船だまり北防波堤灯台から真方位163° 3,000m付近 (概位 北緯31° 22.06′ 東経130° 33.01′)	
事故等調査の経過	平成21年7月6日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 引船 おおしお、19トン 293-32428鹿児島、大分海事株式会社</p> <p>B 起重機船 ^{だいいりゅう}大龍号、長さ47m、幅17m、深さ3m なし、大分海事株式会社</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長、一級小型船舶操縦士</p> <p>B なし</p>	
死傷者等	なし	
損傷	<p>A なし</p> <p>B 船首船底部に軽微な凹損を伴う擦過傷</p>	
事故等の経過	A船は、船長ほか1人が乗り組み、作業員4人を乗せた船首約1.4m、船尾約2.0mの喫水となったB船をえい航して、喜入町前之浜沖に至り、港湾土木作業に従事していたところ、風が強くなったため、作業を中断している際、風に圧流され、平成21年5月11日15時00分ごろ、陸岸近くの浅所にB船の船首が乗り揚げた。	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 南東、風速 約12m/s</p> <p>海象：潮汐 ほぼ低潮時</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>A船は、B船をえい航中、風圧に対する配慮が適切でなかった可能性があると考えられる。</p> <p>B船が風の影響により圧流された可能性があると考えられる。</p>
原因	本事故は、喜入町前之浜沖において、A船がB船をえい航中、風圧に対する配慮が適切でなかったため、B船が風に圧流されて浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	